

# More だれもが外出（移動）しやすい街づくりプロジェクト ～インクルーシブ公園～



8班 コミュニティデザイン学科 小宅 ころろ 白石 萌々香  
建築都市デザイン学科 伊藤 和樹 菊地 勇道 小室 稀新  
社会基盤デザイン学科 黒澤 駿斗 更科 まなみ

NPO法人 アクセシブル・ラボ 代表理事 大塚訓平

## 01.背景

近年、ダイバーシティが重視され、それと同時にダイバーシティを認め、受け入れていくインクルージョンも注目されている。  
 その中で、今回地域プロジェクト演習で私たちが課題として設定したのは障がいのある子どもが公園で遊ぶ際に生じる格差である。  
 諸外国では“年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる公園”としてインクルーシブ公園が設置されている。日本でも、全国各地で設置されるようになってきている。  
 しかし、現在栃木県内にインクルーシブ公園は設置されておらず、**障害のある子どもが公園で遊ぶ際に生じる格差**という課題が解消されていない状態となっている。

## 02.目的

**栃木県内初のインクルーシブ公園の設置を目指して**

- 誰もが楽しめる公園に必要なことを明らかにする
- 障がい児やその保護者が抱える潜在ニーズを明らかにする
- 県内にインクルーシブ公園が設置されていない原因を明らかにする
- 成功事例に共通することを明らかにする

## 04.結果

### ▼栃木県内の公園の課題

- 遊具が適切に使われていない 例：滑り台を逆走している
- 管理が行き届いていない 例：砂場が砂で埋まっている
- 年齢によって遊ぶことのできない遊具が多い**
- 公園に隣接した駐車場がない、もしくは駐車場からの距離が遠い

### ▼キャプション評価

栃木県内の公園と笠間中央公園における遊具・設備面についてキャプション評価を行い、利用者の多様性と利便性の観点からマトリクスにまとめた。

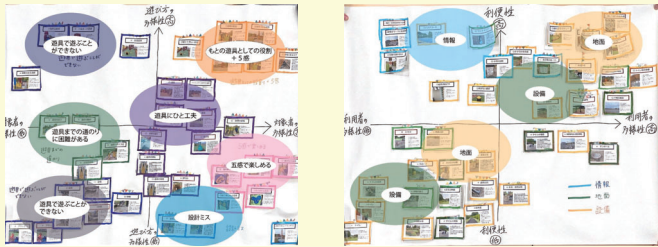


図1 遊具のキャプション評価

図2 設備のキャプション評価

### ▼インクルーシブ公園の傾向・特徴

- トイレ・水道・ベンチ等の設備が整っている
- 適切な駐車場が確保されている**
- 段差が少なかつたり材質など地面に対して配慮がある**
- 遊び方やルール看板が設置してある
- 遊び方の多様性がある
- 障害児対象エリアなど特別な区域を設けず、誰もが遊ぶことのできる遊具の選定・配置がなされている

### ▼保護者に公園利用についてインタビューした結果

- 遊具の安全性、施設の衛生面に気がつかっている
- 小さい子が遊べない、遊びにくいなど対象者の制限が気になる**
- 知らない子どもと遊ぶことに対して抵抗感はない

### ▼論文での調査結果

**「わずかな配慮で公園の利便性を高めることができる」**

### ▼宇都宮市の障がい者の人口

- 障がい者手帳所持者：23,690人（令和元年度末現在）
- 身体障がい者手帳所持者数：15,024人
- 肢体不自由：6,980人で最も多い（令和2年3月31日現在）

## 03.方法

### ▼公園の調査

- 栃木県の公園を知る  
 だいや川公園(日光市) 高根沢ファミリー公園(高根沢町)  
 水上公園・駅東公園(宇都宮市)
- 栃木県外のインクルーシブ公園を知る  
 笠間中央公園(茨城県)  
 恵比寿南二公園・砧公園・府中の森公園(東京都)
- 調査をもとにしたキャプション評価・マトリクス

### ▼公園利用の調査

- インタビュー調査**  
 ゆうあいひろばでの調査  
 地域パートナーのお話
- アンケート調査**  
 肢体不自由者父母の会への依頼

### ▼文献調査

- 「第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」  
 藤崎健一郎、勝野武彦、村中栄美；  
 肢体不自由児による公園緑地の利用を促進する方策

## 05.提案

**インクルーシブ公園を設置する場所：水上公園・にしき西公園周辺環境×既存の活用**

- ファミリー向けマンションが多く、子育て世帯の利便性が高い
- デパート・病院・学校があるため多様な人が利用可能
- 00から創造するのではなく、注目されている既存のものを更新していく形を取り「進化する公園のモデル」に

### ▼設備において工夫した点

- 水上公園に足りないものをにしき西公園で補う
- 交流が生まれるようなゾーニングや動線の確保
- 街灯や東屋を増やす
- 安全に配慮し歩道橋の設置
- 思いやり駐車場の拡充

### ▼遊具において工夫した点

- 聴覚や四肢等に障害を持つ子どもも遊ぶことのできる遊具の設置
- 子どもの年齢に合わせた遊具の選定

- 五感で楽しむ遊具  
 トークチューブ
- 年齢や障がいの有無に関係なくみんなで楽しむ遊具  
 ベッドジャンパー  
 ツインサンドボウルテーブル
- 役割分担を通じて子ども同士の交流が生まれる遊具  
 オムニスピナー

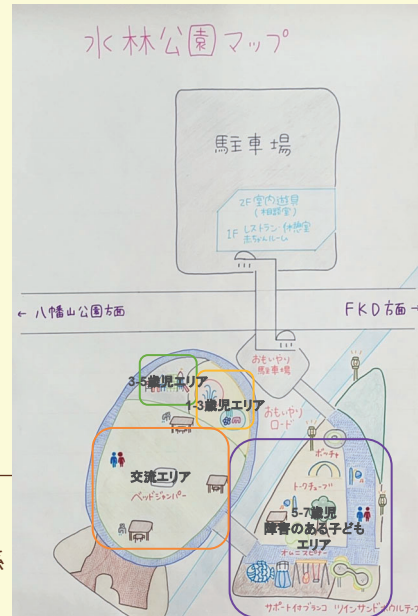


図3 公園提案のマップ

## “年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる公園”を実現



図4 公園提案のパフレット